



(ノルマンディーの港(黄色い帆)) 1985年

エコール・ド・パリの代表的な画家であった 藤田嗣治

絵にかけた情熱をパリで燃焼しフランスで客死した 佐伯祐三

そして、今、「日本人の心でフランスを詩う」と賞される 村山 密

# 村山密<sup>しづか</sup>展

～パリを描いて半世紀～

2007.6月30日[土] - 9月17日[月・祝]

開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月曜日(7月16日[月・祝]、9月17日[月・祝]は開館)

観覧料 / 大人700円、高・大生500円、中学生以下無料(前売りは各200円引 20名以上の団体は各100円引)  
■70歳以上・身障者の方は無料です。受付で証明できるものをご提示ください。

前売券販売所 / ローソンチケット [Lコード:65550]

主催: 尾道市立美術館・朝日新聞社・NHK ちゅうごくソフトプラン

共催: NHK 広島放送局・福山支局

後援: 広島県教育委員会

企画協力: 茨城県近代美術館

制作協力: NHKプロモーション

協力: 日本航空

瀬戸内海を一望する千光寺公園山頂の美術館——



## 尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682

村山 密(むらやま しづか・1918年-パリ在住)  
茨城県潮来市に生まれる。1932年、画家を志して上京、川端画学校に学び春陽会の岡鹿之助に師事。54年、岡の紹介状を携えて渡仏、藤田嗣治の知遇を得る。一時帰国するが、59年、永住を決意して再渡仏。62年、サロン・ドートンヌに初出品、初入選。以後、さまざまな展覧会で受賞を重ね、79年、サロン・ドートンヌ審査委員になる。85年には、同展具象絵画部門部長に選任される。それは、あの藤田さえなしえなかった日本人初の快挙であった。この時同展マツカヴォイ会長は「まったく自然なかたちで、名誉が村山にやってきた。」と評したという。91年、パリ市名誉市民賞受賞。97年、フランス政府からレジオン・ドヌール勲章が贈られた。今も、セーヌ河畔のアトリエで制作を続けている。

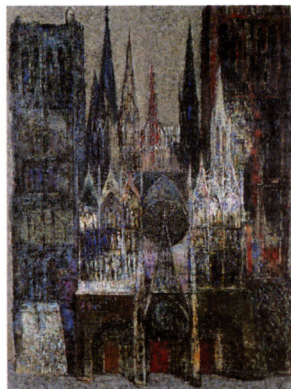




〈シャンゼリゼ〉1989年



〈北ホテル〉1988年



〈ルーアンの聖堂〉1967-73年



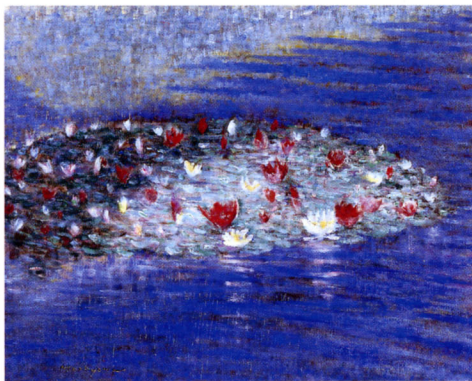
〈けし花〉1986-88年



〈セーヌ河畔〉1977年



〈ノルマンディー風景〉1972年



〈睡蓮〉2003-04年

# パリに住み フランスを描いて50年 村山密展

Exposition de Shizuka MURAYAMA

半世紀にわたりフランスで活躍を続ける洋画家、村山密の画業を回顧する展覧会です。渡仏後、藤田嗣治の知遇を得て、藤田の制作の現場を直接見る幸運にも恵まれた村山は、藤田の言葉で「パリで勉強するには、パリの街を知らなければならぬ。」とパリ中を歩きまわり、文化に親しんで多くの作品を描きました。今、村山には「パリの日本人、そして日本のパリジャン」「日本人の心で、フランスを詩う画家」などの称号が贈られ、パリ画壇の一角に、日本人の心で存在感を刻み続けています。本展覧会では、画家の愛したパリの町並みや、尾道ゆかりの港町オンフルールなど、画家自身がフランス各地を取材した風景画など、初期から近年に至る画業を展覧し、日本未発表の近作を併せて紹介します。この機会に、純然たる視覚の喜びを追い求めた、詩情あふれる村山の絵画世界をご堪能ください。

## キッズ情報コーナー 夏休みだ！わくわく子ども美術館

「思い出絵日記」コンクール応募作品を「尾道市立美術館」でも8月31日[金]まで受付けます。

□お絵かき教室  
8月11日[土] 午前9時～午後12時 会場：2階ロビー 対象：中学生以下の児童・生徒 定員30名(受付先着順)  
参加費：無料(付添いの保護者の方1名は無料で入館できます。) ※画用紙、絵の具等の画材は各自ご持参ください。

□ミュージアム・コンサート—絵と音楽でフランスを感じよう—  
8月12日[日] 午後2時30分～(1時間程度) 演奏：佐藤友美(ピアノ) 会場：2階ロビー 定員50名(受付先着順)  
対象：中学生以下の児童・生徒  
※参加費：無料(付添いの保護者の方1名は無料で入館できます。)  
※当日は「わいわいがやがやおしゃべり鑑賞会」(午後2時～3時まで)を同時開催しています。

【応募方法】  
でんわ、FAX、はがき、e-mailのいずれかで下記までお申込みください。件名には「お絵かき教室参加」もしくは「ミュージアムコンサート参加」と明記の上、1.住所 2.氏名(子どもさんと付添の方) 3.学年 4.連絡先(住所・電話番号)をご記入ください。  
※申込み期限：7月31日[火](はがきの場合は当日消印有効) ※個人情報とは当該事業のみに使用

●応募と詳細についてのお問合せ先  
尾道市立美術館 〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19  
TEL.0848-23-2281 FAX.0848-20-1682 e-mail:bijutsu@city.onomichi.hiroshima.jp

□わいわいがやがやおしゃべり鑑賞会  
7月8日[日]、8月12日[日]、14日[火]、15日[水]、16日[木] 各日とも午後2時～午後3時まで 会場：各展示室  
※参加自由、申込み不要(付添いの保護者の方1名は無料で入館できます。)

## 関連行事

■記念講演会 7月16日[月・祝] 午後2時～ 演題：『(仮題)村山密とフランス』 講師：飯山雅英(美術ジャーナリスト) 会場：2階ロビー  
■当館学芸員による列品解説 7月22日[日]・8月26日[日] 各日とも午後2時～(30分間程度) 会場：各展示室  
■=申込み不要、観覧券をお持ちの上ご参加ください。

## 近隣美術館の展覧会情報

□ふくやま美術館  
「甘美なる聖母の画家 ベルジノ展」  
7月7日[土]～9月2日[日]

□岡山県立美術館  
「ピカソ展—  
ル・ルーヴィヒ美術館コレクション」  
7月24日[火]～8月26日[日]

□島根県立美術館  
「大正ロマンの美人画家 竹久夢二展」  
8月10日[金]～9月17日[月・祝]

□広島県立美術館  
「生誕100年 観光展」  
8月10日[金]～10月8日[月・祝]

□(財)大原美術館  
「コレクションテーマ展  
拝啓ピカソ様—大原美術館より」  
7月10日[火]～9月9日[日]

□(財)ひろしま美術館  
「ひろしま美術館+山岡コレクション」展  
7月7日[土]～8月19日[日]

□愛媛県美術館  
「視覚の魔術師 M.C. エッシャー」展  
7月14日[土]～8月26日[日]

■(財)平山郁夫美術館  
「大下園で見る平山郁夫と玄奘三蔵の  
シルクロード」展  
5月28日[月]～8月31日[金]

■鹿野記念館  
「所蔵展」  
6月26日[火]～9月2日[日]

■なかつ美術館  
「(仮称)ポーシャ展」  
7月11日[水]～9月2日[日]

## 次回展覧会

「小林和作の世界」展 9月22日[土]～10月14日[日]

## ご利用案内

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(1番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(市バス「千光寺公園」直行便は便数が少ないのでご注意ください。)
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」へ。(入館の際に駐車券をご提示ください。当日券を1名様に限り200円割引いたします。)
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。



瀬戸内海を一望する千光寺公園山頂の美術館—  
**尾道市立美術館**  
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682